

「木材産業の業況等に関するアンケート」結果について

平成21年11月5日

関係団体各位

金融危機木材産業影響対策本部
(林野庁林政部木材産業課内)

「木材産業の業況等に関するアンケート」結果について

先般ご協力いただきました標記アンケート調査につきまして、結果がまとまりましたので送付いたします。

お忙しい中ご協力ありがとうございました。

- 調査時期:平成21年10月19日～10月27日
- 調査方法:中央団体を通じ会員工場等へアンケート調査への協力を依頼
- 調査対象:
 - ・素材生産業:全国素材生産業協同組合連合会傘下の素材生産事業体(回答数91件)
 - ・製造業:全国木材組合連合会、日本集成材工業協同組合連合会、日本合板工業組合連合会傘下の製材、集成材、合板工場(回答数232件)
 - ・流通業:全日本木材市場連盟、全国木造住宅機械プレカット協会傘下の木材市場及びプレカット工場(回答数40件)

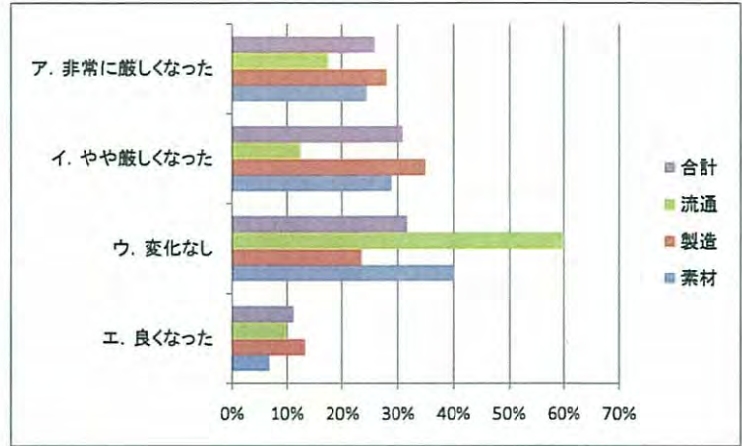
木材産業の業況等に関するアンケート結果(平成21年10月実施)

今回実施したアンケート調査の結果から、5月に実施したアンケート結果と比較して業況が厳しくなったとする回答の割合は若干下がっているものの、木材産業関係者が引き続き厳しい状況に置かれていることが窺える結果となった。
 また、今後の業況については、現在の厳しい状況が今後も続く、あるいは更に悪化するとの見通しが大勢を占める結果となった。
 一方、雇用状況については、わが国全体としては雇用情勢が悪化する中、木材産業においては比較的雇用が維持されている模様である。
 公共事業関連資材の受注については、前回調査時の5月時点及び昨年と比較してそれぞれ変化なしとする回答が半数を占めている。

1 5月と比べて業況はどのように変化しましたか。

「非常に厳しくなった」、「やや厳しくなった」を合わせると全体の57%と前回の71%から14ポイント減少する一方、「良くなった」が11%と前回の4%から7ポイント増加している。

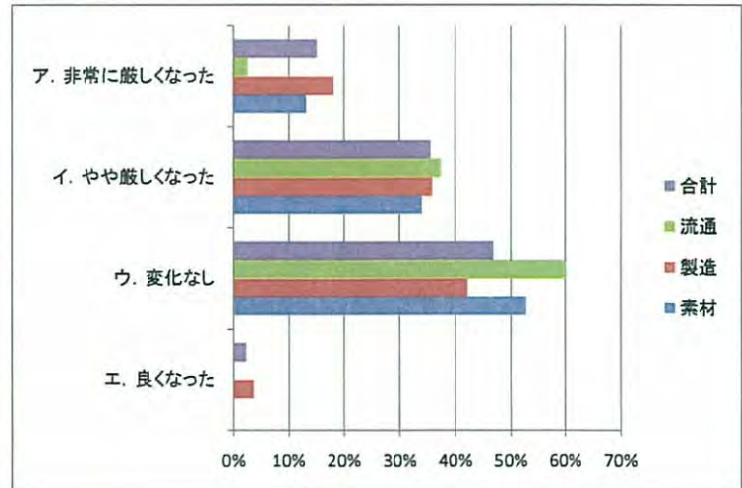
	素材生産	製造	流通	合計
ア. 非常に厳しくなった	24%	28%	18%	26%
イ. やや厳しくなった	29%	35%	13%	31%
ウ. 変化なし	40%	24%	60%	32%
エ. 良くなった	7%	13%	10%	11%
計	100%	100%	100%	100%



2 5月と比べ資金繰りの状況はどのように変化しましたか

「非常に厳しくなった」、「やや厳しくなった」を合わせると全体の51%と前回の63%から12ポイント減少しているが、「変化なし」が47%と前回の36%から11ポイント増加している。

	素材生産	製造	流通	合計
ア. 非常に厳しくなった	13%	18%	3%	15%
イ. やや厳しくなった	34%	36%	38%	36%
ウ. 変化なし	53%	42%	60%	47%
エ. 容易になった	0%	4%	0%	2%
計	100%	100%	100%	100%

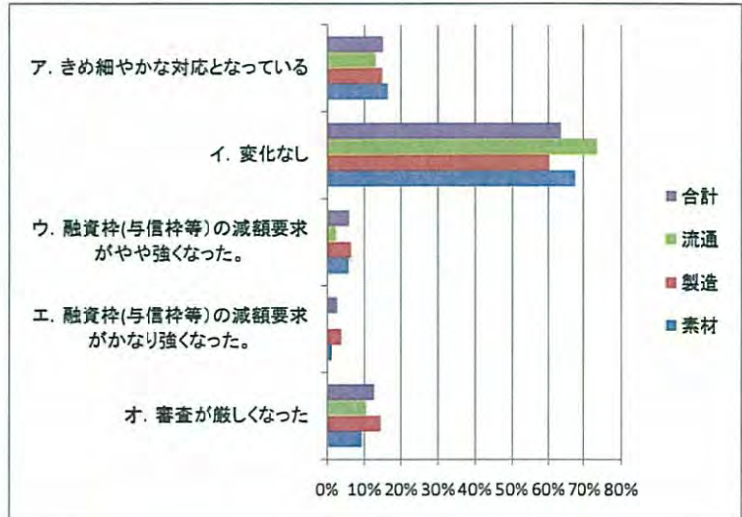


3 金融機関の対応について教えてください

(1) 5月と比べ金融機関の貸出姿勢はどのように変化しましたか。

「審査が厳しくなった」とする回答が13%と前回の17%からわずかに4ポイント減少し、「変化なし」が63%と前回の59%からわずかに4ポイント増加した以外は前回の調査と同様の傾向。

	素材生産	製造	流通	合計
ア. きめ細やかな対応となっている	16%	15%	13%	15%
イ. 変化なし	67%	60%	74%	63%
ウ. 融資枠(与信枠等)の減額要求がやや強くなった。	6%	7%	3%	6%
エ. 融資枠(与信枠等)の減額要求がかなり強くなった。	1%	4%	0%	3%
オ. 審査が厳しくなった	9%	14%	11%	13%
計	100%	100%	100%	100%

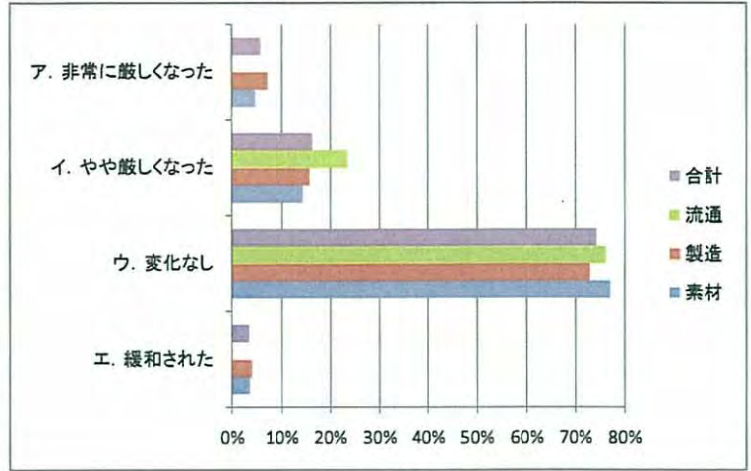


(2)貸し出し条件について

①5月と比べ返済条件についてどのように変化しましたか

「非常に厳しくなった」、「やや厳しくなった」を合わせると全体の22%と前回の30%から8ポイント減少し、「変化なし」が前回の68%から6ポイント増加し74%を占めている。

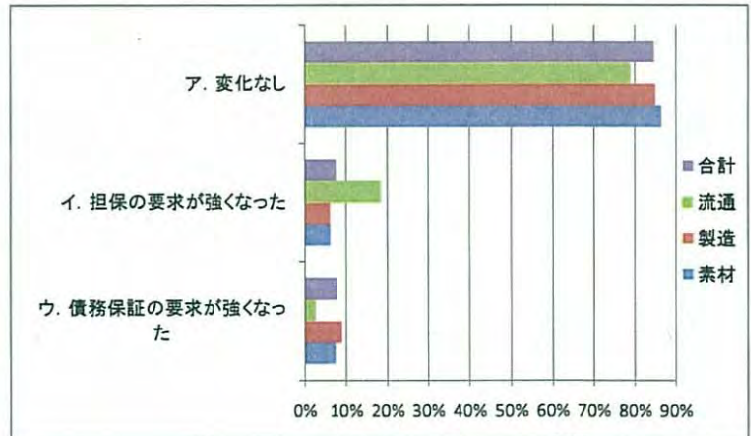
	素材生産	製造	流通	合計
ア. 非常に厳しくなった	5%	7%	0%	6%
イ. やや厳しくなった	14%	16%	24%	16%
ウ. 変化なし	77%	73%	76%	74%
エ. 緩和された	4%	4%	0%	3%
計	100%	100%	100%	100%



②5月と比べ担保等の要求についてどのように変化しましたか

「変化なし」が85%と前回の77%から8ポイント増加、「担保の要求が強くなった」は前回の10%から2ポイント減少、「債務保証の要求が強くなった」は前回の13%から5ポイント減少した。

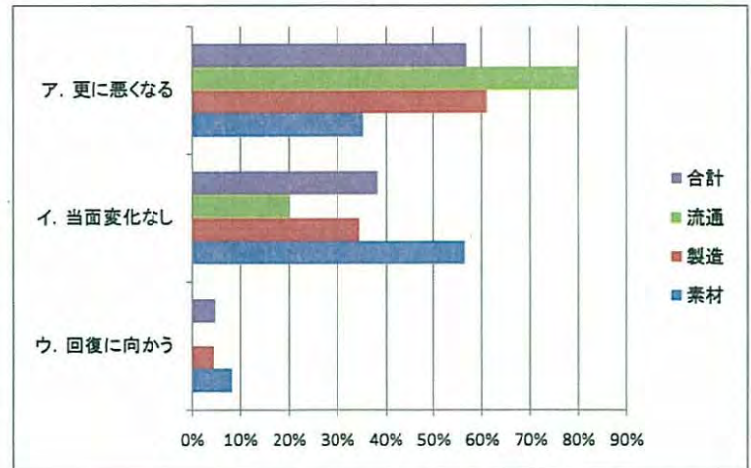
	素材生産	製造	流通	合計
ア. 変化なし	86%	85%	79%	85%
イ. 担保の要求が強くなった	6%	6%	18%	8%
ウ. 債務保証の要求が強くなった	7%	9%	3%	8%
計	100%	100%	100%	100%



4 これから半年の業況見通しについて教えてください

前回の調査と同様「更に悪くなる」が過半を占めており、前回の51%から6ポイント増加し57%となった。「更に悪くなる」は、素材生産業では前回から20ポイント以上減少したのに対し、製造業・流通業ではそれぞれ10ポイント以上増加するなど業種により違いがみられる。

	素材生産	製造	流通	合計
ア. 更に悪くなる	35%	61%	80%	57%
イ. 当面変化なし	56%	35%	20%	38%
ウ. 回復に向かう	8%	4%	0%	5%
計	100%	100%	100%	100%

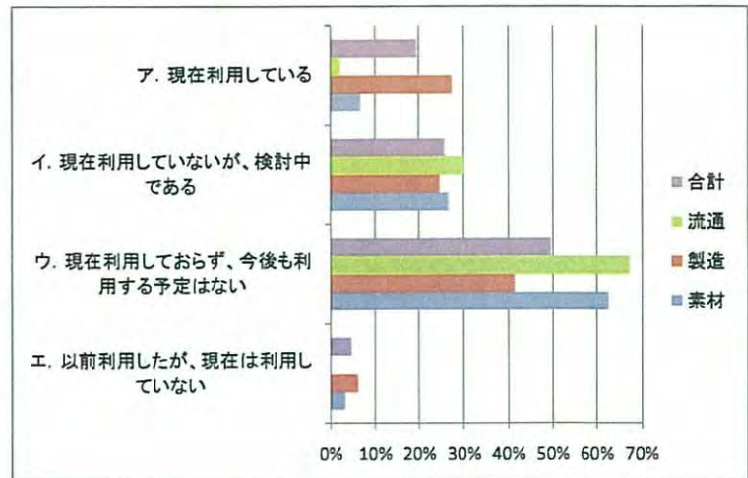


5 雇用状況等について教えてください

(1) 雇用調整助成金等の利用状況について

「現在利用している」が前回の13%から7ポイント増加し20%となった。特に製造業では27%と前回の15%から12ポイント増えており、これら制度の利用が増加している模様。

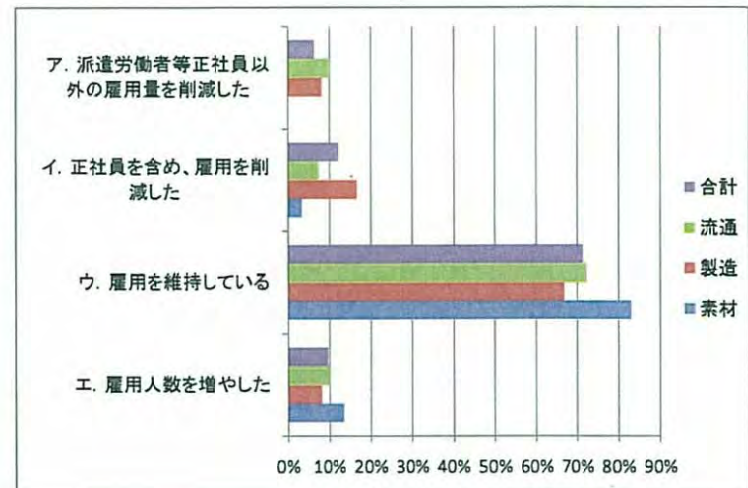
	素材 生産	製造	流通	合計
ア. 現在利用している	7%	27%	3%	20%
イ. 現在利用していないが、検討中である	27%	25%	30%	26%
ウ. 現在利用しておらず、今後も利用する予定はない	63%	41%	68%	50%
エ. 以前利用したが、現在は利用していない	3%	6%	0%	5%
	100%	100%	100%	100%



(2) 5月以降の雇用調整状況についておしえてください

「雇用を維持している」が71% (前回70%) を占めており、前回調査時と同様に木材産業における雇用はある程度維持されている模様。特に素材生産業において「雇用を維持している」が83%と前回の74%から9ポイント増加。

	素材 生産	製造	流通	合計
ア. 派遣労働者等正社員以外の雇用量を削減した	0%	8%	10%	6%
イ. 正社員を含め、雇用を削減した	3%	17%	8%	13%
ウ. 雇用を維持している	83%	67%	73%	71%
エ. 雇用人数を増やした	14%	8%	10%	10%
計	100%	100%	100%	100%

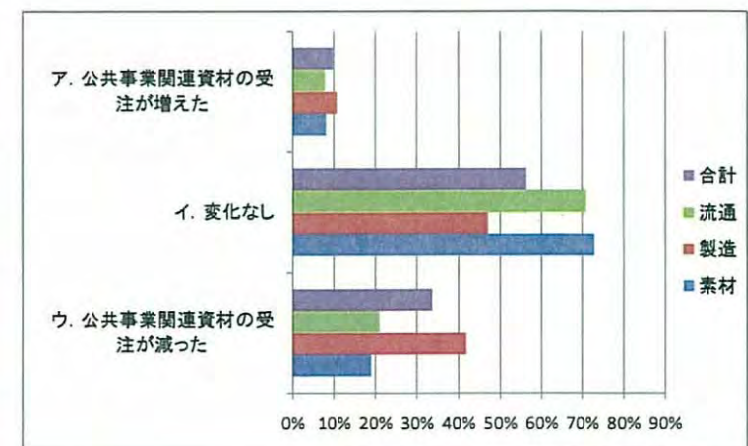


6 公共事業関連資材の受注状況について教えてください

(1) 5月と比較した公共事業関連の受注について

5月と比較した公共事業関連資材の受注については、「増えた」が10%と前回の2%から8ポイント、「減った」が34%と前回の28%から6ポイントそれぞれ増加したが、なお「変化なし」が56% (前回70%) を占めている。

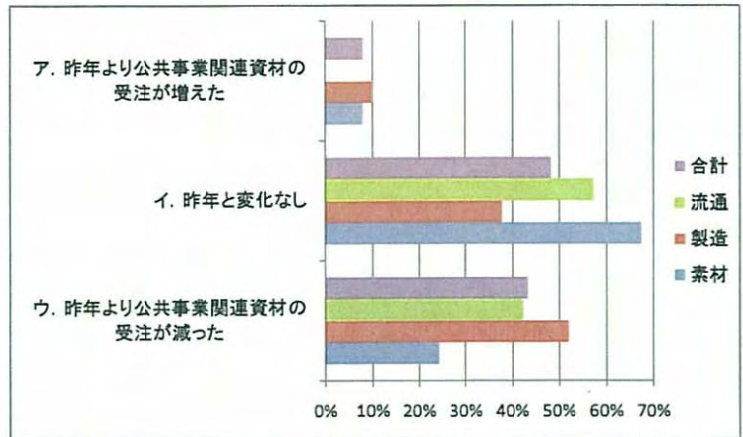
	素材 生産	製造	流通	合計
ア. 公共事業関連資材の受注が増えた	8%	11%	8%	10%
イ. 変化なし	73%	47%	71%	56%
ウ. 公共事業関連資材の受注が減った	19%	42%	21%	34%
計	100%	100%	100%	100%



(2) 昨年と比較した公共事業関連の受注について

昨年と比較した公共事業関連資材の受注については、昨年より「減った」が43%と前回調査時と比較した上記(1)の34%よりも高い割合となったが、「変化なし」が48%を占めている。

	素材 生産	製造	流通	合計
ア. 昨年より公共事業関連 資材の受注が増えた	8%	10%	0%	8%
イ. 昨年と変化なし	68%	38%	58%	48%
ウ. 昨年より公共事業関連 資材の受注が減った	24%	52%	43%	43%
計	100%	100%	100%	100%



木材産業の業況等に関するアンケート

金融危機木材産業影響対策本部（林野庁木材産業課内）

昨春秋以降の世界的な金融危機に伴う国内の景気低迷への対応策として様々な施策が講じられており、我が国経済の基調としては景気は持ち直し傾向にあるとされるものの、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況が続いています。

つきましては、御社における業況や資金の調達状況等について可能な範囲でアンケートにご協力をお願いします。

1 5月と比べて業況はどのように変化しましたか。

ア.非常に厳しくなった イ.やや厳しくなった ウ.変化なし エ.良くなった

2 5月と比べ資金繰りの状況はどのように変化しましたか。

ア.非常に厳しくなった イ.やや厳しくなった ウ.変化なし エ.容易になった

3 金融機関の対応について教えてください。

(1) 5月と比べ金融機関の貸出し姿勢はどのように変化しましたか。

ア.きめ細やかな対応となっている イ.変化なし
ウ.融資枠(与信枠等)の減額要求がやや強くなった
エ.融資枠(与信枠等)の減額要求がかなり強くなった
オ.審査が厳しくなった

(2) 貸出し条件について

①5月と比べ返済条件についてどのように変化しましたか

ア.非常に厳しくなった イ.やや厳しくなった ウ.変化なし エ.緩和された

②5月と比べ担保等の要求についてどのように変化しましたか

ア.変化なし イ.担保の要求が強くなった ウ.債務保証の要求が強くなった
エ.その他(具体的に)

()

4 これから半年の業況の見通しについて教えてください。

ア.更に悪くなる イ.当面変化なし ウ.回復に向かう
→ そのように回答された理由を簡潔にご記入下さい。

()

5 雇用状況等について教えて下さい。

(1) 雇用調整助成金等^(注)(中小企業緊急雇用安定助成金を含む)の利用状況について

ア.現在利用している イ.現在利用していないが、利用を検討中である
ウ.現在利用しておらず、今後も利用する予定はない
エ.以前利用したが、現在は利用していない(年 月頃利用)

(注)別紙1、2参照

→ イ～エと回答された方は、その理由を簡潔にご記入下さい。

()

(2) 5月以降の雇用調整状況について教えて下さい。

ア.派遣労働者等正社員以外の雇用量を削減した
イ.正社員を含め、雇用を削減した
ウ.雇用を維持している エ.雇用人数を増やした
→ 雇用の維持に当たり、努力されていることについてご記入下さい。

()

別添

6 公共事業関連資材の受注状況について教えてください。

(1) 5月と比較した公共事業関連の受注について

- ア. 公共事業関連資材の受注が増えた イ. 変化なし
ウ. 公共事業関連資材の受注が減った

(2) 昨年と比較した公共事業関連の受注について

- ア. 昨年より公共事業関連資材の受注が増えた イ. 昨年と変化なし
ウ. 昨年より公共事業関連資材の受注が減った

7 その他お気づきのことについてご記入下さい。

--

平成21年6月9日

関係団体各位

金融危機木材産業影響対策本部
(林野庁林政部木材産業課内)

「木材産業の業況等に関するアンケート」結果について

先般ご協力いただきました標記アンケート調査につきまして、結果がまとまりましたので送付いたします。

お忙しい中ご協力ありがとうございました。

- 調査時期:平成21年5月21日～6月5日
- 調査方法:中央団体を通じ会員工場等へアンケート調査への協力を依頼
- 調査対象:
 - ・素材生産業:全国素材生産業協同組合連合会傘下の素材生産事業体(回答数 123件)
 - ・製造業:全国木材組合連合会、日本集成材工業協同組合連合会、日本合板工業組合連合会傘下の製材、集成材、合板工場(回答数 234件)
 - ・流通業:全日本木材市場連盟、全国木造住宅機械プレカット協会傘下の木材市場及びプレカット工場(回答数 35件)

木材産業の業況等に関するアンケート結果

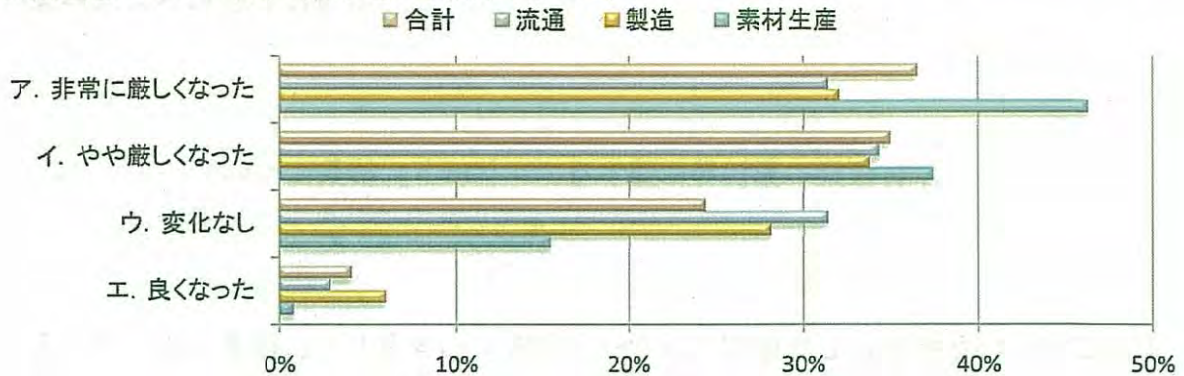
I 経常調査

今回のアンケート調査の結果から、全体的に3月と比べ業況は更に厳しくなっている様子がうかがえた。特に素材生産業については業況が悪化している傾向にある。

一方で、製造業においては、業況に改善が見られた旨の回答も出てきており、今後の補正予算の執行の本格化を受け、これらの動きが確実なものとなることが期待される。

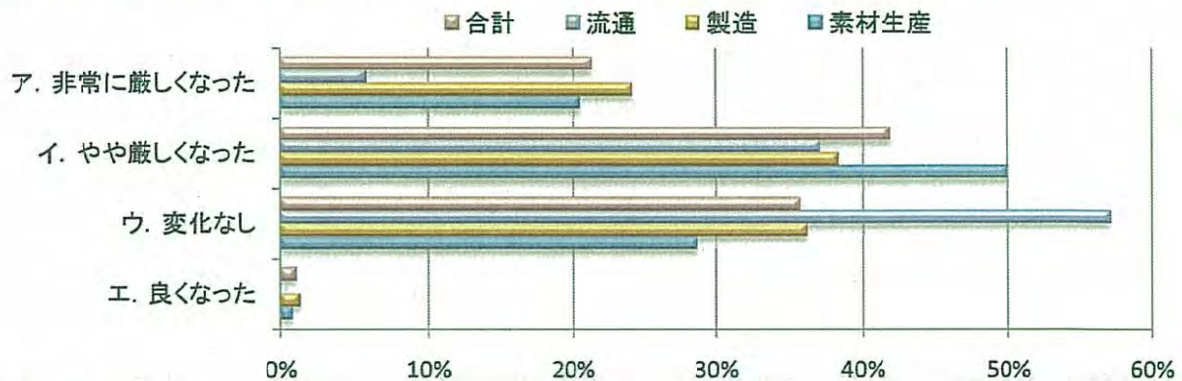
1 3月と比べた業況について

「非常に厳しくなった」、「やや厳しくなった」との回答を合わせると、全体で7割をこえる結果となった。特に素材生産業については、8割を超える結果となった。



2 3月と比べた資金繰りについて

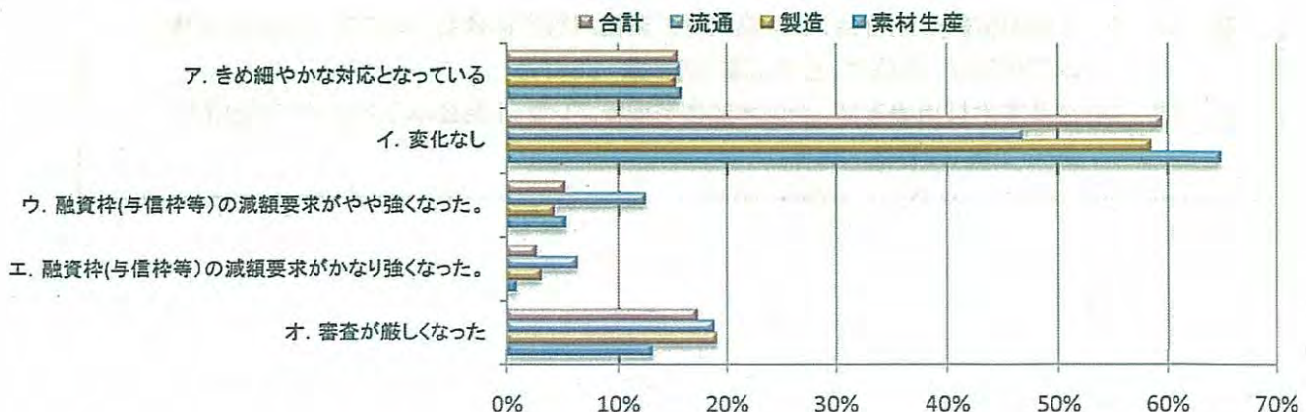
資金繰りについては、木材需要の減退等の影響などから、全体で6割以上が「非常に厳しくなった」、「やや厳しくなった」との回答となった。特に素材生産業において資金繰りが悪化している。



3 金融機関の対応について

(1) 3月と比べ金融機関の貸出姿勢について(複数回答可)

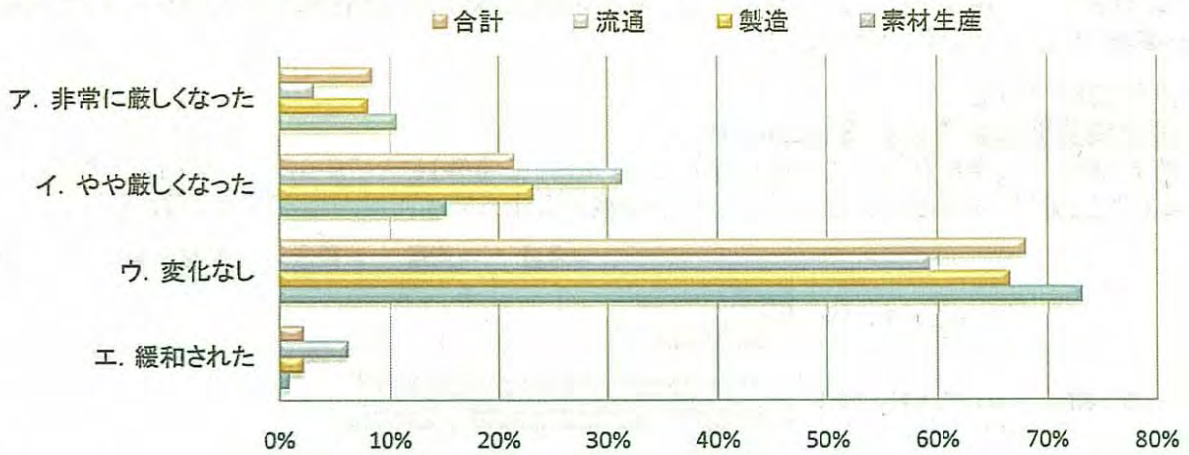
金融機関の貸出姿勢については、大きな変化は見られないものの、住宅等の販売不振等の影響などから、流通業に対する融資枠の減額要求等がやや強くなっている。



(2) 貸し出し条件について

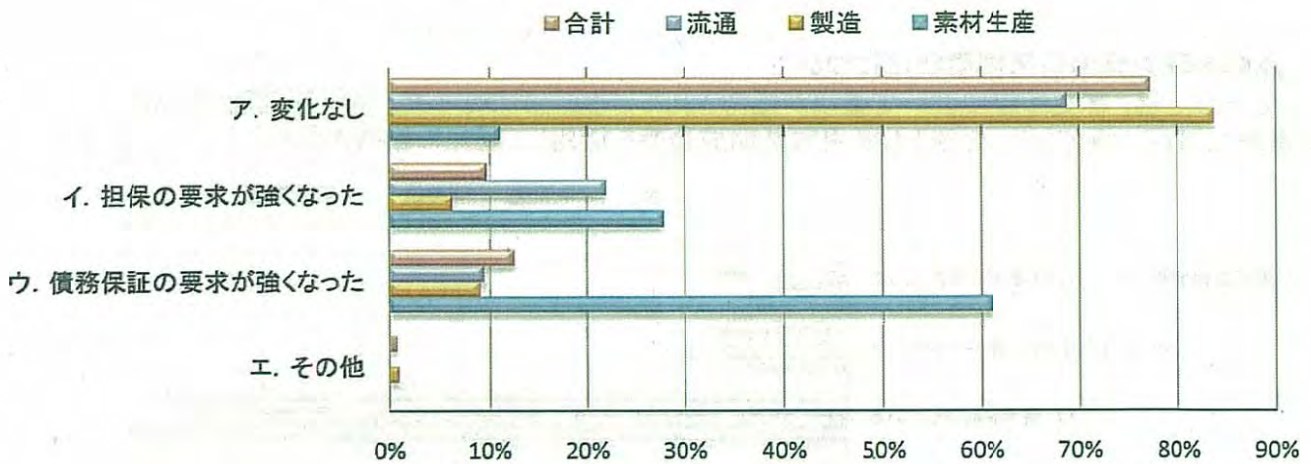
① 3月と比べ返済条件について

返済条件については「変化なし」との回答が大半を占めた。



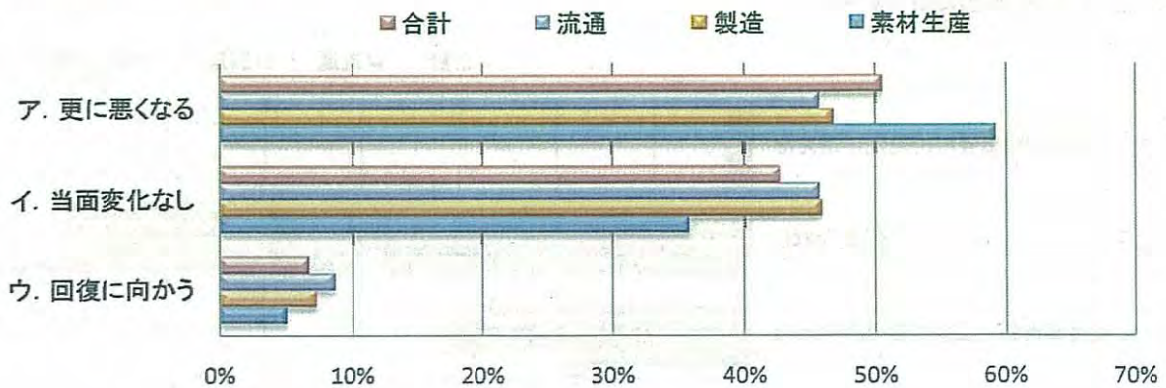
② 3月と比べた担保等の要求について

全体としては、「変化なし」が多かったが、工場等の担保財産を持たない素材生産業に対する債務補償要求が強くなっている。



4 これから半年の業況見通しについて

「更に悪くなる」との回答が約半数で最も多く、ついで「当面変化なし」となっており、「回復に向かう」との回答はごく少数にとどまった。



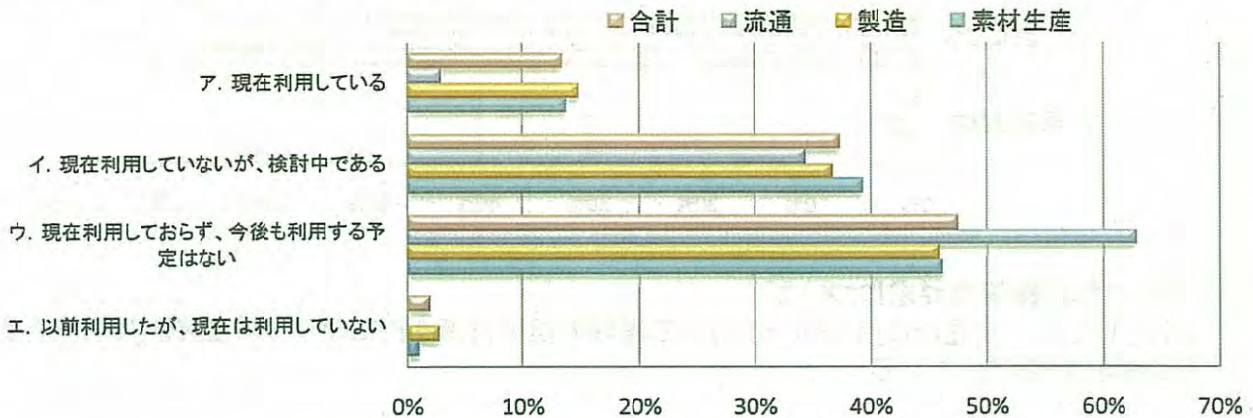
II 特別調査

工場、事業体等の大半において雇用の維持に努めていることがわかった。しかしながら、昨年末から要件緩和等を行っている「雇用調整助成金」(中小企業緊急雇用安定調整助成金を含む)については、全体の13%の利用にとどまっている。なお、中小企業全体における雇用調整助成金の利用実績は約59千事業所(H21.4集計)となっている。

5 雇用状況について

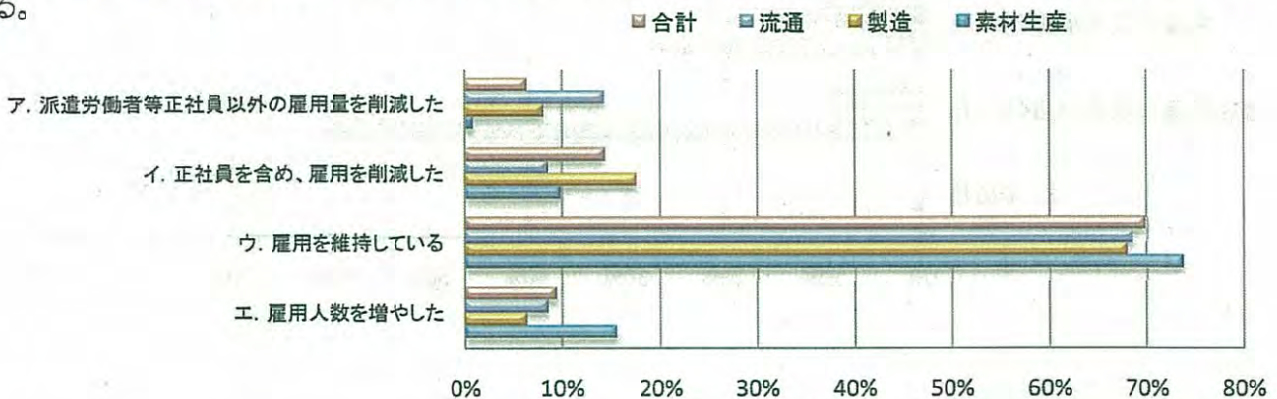
(1) 雇用調整助成金等の利用状況について

雇用調整助成金を利用している工場等は13%(51工場等)にとどまった。今後利用を検討していると回答した工場等が4割近くあることから、今後の業況によっては利用が増加すると考えられる。



(2) 昨年の秋以降の雇用調整状況について

大半の工場、事業体等において雇用が維持されていることがわかった。木材関連産業は地域における重要な雇用の場であり、今後とも雇用調整助成金等を活用し、雇用の維持が図られることを期待する。



6 今年1月以降の公共事業関連資材の受注状況について

昨年度の二次補正以降、公共事業へのてこ入れが行われているが、官公需要は低迷しており、需要の回復が急務となっている。

